

ECO NEWS



QMS・EMS
JIS Q 9001
JIS Q 14001
JSAQ 1001, JSAE 768

生ゴミの資源化!

焼却処分による負担を減らすには、生ゴミを肥料に加工して資源化すれば農業などにも活用できとってもエコなのですが、実際こうした循環型社会をめざす地方自治体も多いものの導入はあまり進んでいないのが現実です。

環境省がまとめた2008年度版「日本の廃棄物処理」を紐解いて見ると2008年度の日本のゴミ総排出量は4810万トンで1兆8169億円の税金を投入して処理されています。これを一人あたりで換算すると1万4200円負担している事になります。又、焼却で残った灰は全国で約1800箇所の最終処分場に送られますが、今のままではあと18年ほどで満杯になります。さらに細かくみると一般家庭から出るゴミの重量は全体の約7割を占め、その約半分は生ゴミであります。

これらのことを踏まえゴミを減らし資源を再利用化するためには私たち一人一人、他人ごとではなく家庭、会社、地域にと密接に関わっていく必要性を改めて考えさせられます。

にしまる探検ツアー その13

今回は、相談室をご紹介します。こちらのお部屋は入院相談に使っており、まだ入院されていない患者様のご家族に対して入院の概要を説明する時に使用することが多いです。相談室は最大で5~6名程度入室可能で外の景色は山が広がっております。この部屋は医療福祉課(下段の写真)が担当しておりますので、何かご不明な点がありましたら、どうぞお気軽にお声をおかけください。



相談室(東棟5階)



医療福祉課(東棟3階)

編集後記

この度の東日本大震災により被災された皆様、関係者様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております。

4月に入り、北海道もようやく春らしくなってきました。新年度になり、また新たな気持ちで日々の仕事をがんばっていかうと思っております。

今年度も「にしまるやま通信」をよろしくお願いいたします!

すべての
お問い合わせは

郵便

〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 医療福祉課内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい!

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

医療法人 溪仁会

[医療法人溪仁会 札幌西円山病院 広報誌]

にしまるやま通信

NO.68 2011年
3,4月号



撮影者: H.K

- ロビーコンサート ● 介護保険負担限度額認定証
- ボランティア活動紹介 ● ECO NEWS ● にしまる探検ツアー
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 866床(障害者施設等入院病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設)

ボランティアグループ 銀の舟 活動紹介

今回より、札幌西円山病院ボランティアグループ「銀の舟」の活動を紹介します。

「銀の舟」は、1985年から活動を続けている歴史のあるグループです。

患者様に参加していただく趣味活動やレクリエーション、毎年開催しているバザー等の活動を通じて、患者様とのふれあいの場をつくり、入院生活がより充実できるようにお手伝いしています。

第1回はシルバー教室の「陶芸教室」「舞踊教室」を紹介します。



陶芸教室は、第1・第3金曜日の13時半から開催しています。和気あいあいとした明るい雰囲気の中で陶芸作りを楽しんでいただいています。患者様が作ったお皿やコーヒーカップなどの作品は、素焼き、色掛け、本焼きを経て完成します。本格的な仕上がりで、完成を心待ちにしている患者様も多いです。9月の病院祭にて作品を展示しますので、ぜひご覧ください！

舞踊教室は、第1月曜日の午後で開催しています。ボランティアさんが披露する6曲程の踊りを観賞していただきます。民謡のほかにも歌謡曲もあり、患者様はリズムに合わせて手拍子をしたり、口ずさんだりして笑顔で楽しんでいます。



ボランティアグループ「銀の舟」では、活動にご協力いただける新規ボランティアさんを募集しています。活動にご興味のある方は、ボランティアグループ銀の舟事務局（医療福祉課：TEL 011-644-1380）までお気軽にお問い合わせください！

ロビーコンサート

3月のロビーコンサートは、「まさきプラス」の方々にお越し頂き、金管五重奏を披露して頂きました。金管楽器は、トランペット×2・ホルン・チューバ・トロンボーンで、それぞれの音色が組み合わせ、とても素敵な演奏会となりました。

曲目も「エーデルワイス」や「北国の春」など、あまり金管楽器では演奏することのない選曲で、会場からは、手拍子が自然と飛び交い大変な盛り上がりでした。

まさきプラスの皆様、誠にありがとうございました。

ロビーコンサートは毎月行っております。もし、札幌西円山病院で何か披露したいとご希望の方は、お気軽にご連絡下さい。



介護保険負担限度額認定証について

介護保険施設等に入所、入院された場合、食費や居住費については保険給付の対象外ですが、所得の低い方については役所へ申請することで所得に応じた「負担限度額認定証」が交付されます。この認定証を施設や事業者に提示することで、食費・居住費の一部が保険給付されます。

<利用できる方>

介護保険の要介護認定を受けており、「負担限度額認定証」の交付を受けられている方（裏の利用者負担段階第1段階から第3段階に該当する方）

<対象サービス>

介護福祉施設サービス、介護保健施設サービス、介護療養施設サービス、（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

<手続き方法>

① 認定申請

介護保険負担限度額認定の申請をお住まいの区保健福祉課で行ないます。

利用サービスが支給対象に該当するかなど不明な点がある場合はお住まいの区の保健福祉課へご相談ください。必要書類は・介護保険負担限度額認定申請書・介護保険被保険者証。

② 決定通知書・介護保険負担限度額認定証の送付

世帯全員・被保険者本人の所得状況を確認した結果、該当される場合には「介護保険負担限度額認定決定通知書」と「負担限度額認定証」が送付されます。（有効期限は毎年6月30日までとなっています。引き続き負担限度額認定を受けようとする場合は更新手続きが必要になります）認定対象外となった場合には「不承認決定通知書」が送付されます。